

日経
NIKKEI
CONSTRUCTION

CONSTRUCTION

特集

崩れる民有地

■トピックス 橋

水管橋崩落、放置された点検の死角

■ニュース時事・プロジェクト

リニアのトンネル工事で死亡事故

PCグラウト充填不足部に、再注入し補修する工法

本技術は、PCグラウト充填不足部に、小口径削孔を行い高強度グラウトを再注入し補修する工法である。



再注入の状況

【開発目標】 ●機材費および材料費が安価となるため(コスト削減、生産性の向上) ●施工性の向上(注入口セット改造、機械小型軽量化) ●省資源・省エネルギー。

【活用の効果】 在来技術に比べ本再注入工法は、経済性：34.96%、工期短縮：33.33%に向上する。

【特徴】 ●削孔径がφ30mmと小さく、桁への損傷が軽微で済むほか、コンクリートの発生量が在来工法より少なくなる

●充填不足確認の調査孔を併用可能である ●小口径のため、先行設置が可能で工程を短縮できる ●機械の小型軽量化による施工性向上にて、機械経費、労務費軽減による経済性の向上 ●材料費が安価(高強度グラウト)のため経済性が向上する。

【施工実績】 民間鉄道会社：2件。

お問い合わせ

株式会社友仁工業
技術部

〒596-0003 大阪府岸和田市中井町1-18-14
TEL. 072-448-5277 FAX. 072-448-5377
URL <https://www.tomoni.jp>
E-mail nakamae-h@tomoni.jp